

『住む人にやさしい、
使う人にやさしい、
環境にやさしい』
を目指して

目 次

ごあいさつ	1
環境マネジメントシステム	2
環境憲章	
推進体制	
環境方針	3
環境会計	4
環境配慮製品の開発	5
製品開発の歩み	7
環境配慮製品ラインアップ	8
環境コミュニケーション	10
関係会社への取り組み	
環境データ	11
グリーン購入	13
環境負荷の低減	13
化学物質の適正管理	
エネルギーの使用量	14
廃棄物の管理	15
環境保全活動のあゆみ	16
会社概要	17

ごあいさつ



私たちセメダインは、環境問題が今や地球規模の関心事であることを認識し、経営課題と位置づけ、かねてより環境問題に全社で積極的に取り組んでおります。日経広告手帳(2002.3)の企業調査イメージで「地球に気を配っている企業」ベスト50社にランクされましたことは、セメダインの取り組みについて高い評価をいただいたものと認識し、今後のすすめ方に力強い追い風となりました。このような環境と健康に対するお客様の認識の高まりを強く感じ取り、『住む人にやさしい、使う人にやさしい、環境にやさしい』環境活動の積極的な取り組みを更に前進させます。

セメダイン製品の環境問題への課題として

従来から地球にやさしい接着剤を始め、リサイクル可能な被着体であるオレフィン用接着剤、作業環境の安全性を考慮した有害物質の少ない接着剤、包装材料などの開発を進めています。当年度はテレビなどにより、シックハウス症候群の接着剤に関する注目度がアップされ、国としての法規制が整備されており、市場対応としての環境対策品のみならず、将来は接着剤製造・製品販売に係わる産業廃棄物対策のより一層の強化が課題になると認識しています。

セメダイン製品の環境問題への実施事項として

1993年からは、製品安全情報の公開を実施し、更に内容を充実しています。1996年には、主体的取り組みとして建築内装用の主力品について組成改良を行い、『やさしさ宣言CCS』(自主基準マ-ク)の表示を実施し、2003年2月には住宅環境対策品シリーズの本格的販売を開始しています。更に今後については、一般消費財及び建築内装の汎用品でも、環境対策品へと拡大して行く考えです。このように、建築内装用に限定しない対象用途の拡大化、VOC対策関連製品、産業廃棄物対応としてのフィルムパック化等々より一層の強化を進めます。

セメダイン生産活動の環境保全の実施事項として

茨城工場では1996年を環境元年として、環境管理委員会を設立発足し、社会的責任と事業活動を両立した環境保全事業として、自然と調和した生産活動を展開しています。ISO14001は三重工場で2000年9月11日、茨城工場で2002年3月25日に取得しています。又「セメダイン株式会社環境方針」を2002年10月1日に策定して活動しており、将来的に関連会社をも含めて環境保全活動を展開して行く計画です。

私たちセメダインは、顧客重視の伝統を重んじてきており、更に顧客満足重視の展開とともに、環境と健康に対する企業姿勢を示して行く企業でありたいと考えています。このようなセメダインの積極的な活動を、本年から毎年『セメダイン環境報告書』によって皆様にお知らせし私たちセメダインの活動をご理解いただければ幸いです。

2003年9月

代表取締役社長

黒川靖生

環境マネジメントシステム

環境憲章

セメダイン株式会社は、「製品の開発から廃棄物の処理に至る全ライフサイクル」の当社企業活動において、「環境保護と健康の確保に責任ある配慮を」の原則に従い、環境マネジメント活動を積極的に推進しています。そして、この活動を通して法規制の遵守を図るとともに、法規制を先取りした自主規制を組織的に展開し、環境に優しい企業作りを目指します。

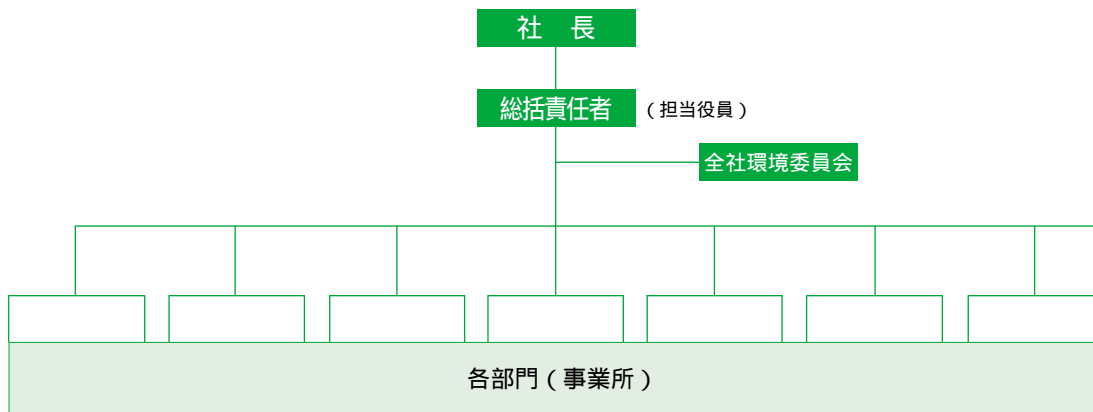
なお、具体的には

1. 全社的環境管理組織の構築と、全社的取り組み
2. ISO14001にもとづくEMSの構築とその推進
3. 環境関連法規制の遵守と、自主規制による管理
4. 環境配慮型製品の開発と、お客様への提供
5. 3R(リデュース・リユース・リサイクル)への積極的取り組み

を、主な活動として取り組んでいます。

推進体制

セメダインでは、下記の通り各部門の代表からなる全社環境委員会を設置し、全社的環境管理活動の取り組みを展開しております。



ISO14001認証取得状況

- ・ 茨城工場
JCQA-E-0366 (2002年3月25日)
- ・ 三重工場
JCQA-E-0176 (2000年9月11日)



セメダイン株式会社環境方針

基本方針

セメダイン株式会社は、全社員が環境の重要性と資源の有限性を認識し、その保全・保護・改善に不断の努力をするとともに、環境を視野に入れた企業発展を目指し、社会的責務と事業活動を両立した環境保全企業を指向する。

行動指針

セメダイン株式会社は、「接着剤・シーリング材ならびにこれらの関連製品の開発・生産・販売」の事業活動において、その活動を地球環境の保護に調和させ、かつ 持続的発展の可能な環境保全型企業実現のため、全社員が遵守すべき指針を以下に示す。

1. 製品の開発から廃棄に至るすべての事業活動において、環境・安全・健康への影響に配慮することを経営の重点課題とし、全社挙げてこれに取り組む。
2. 環境保護に対する社内体制の整備、環境負荷低減目標の設定、環境保護活動の推進に積極的に取り組むとともに、これらの活動を通じて環境へのさらなる意識向上を図る。
3. 製品の全サイクルを通じ、環境保護のための省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物削減などの環境負荷低減に積極的に取り組み、その継続的改善に努める。
4. 国・地方自治体・業界などが定める 環境関連規制をよく理解するとともに、必要に応じて自主基準を設定し、これらの規制・基準を遵守する。
5. 製品の輸出や海外での事業活動に際しては、現地の環境保護に配慮し、必要な対策の実施に努める。

2003年4月1日
代表取締役社長

黒川 靖生

環境会計

2002年度の環境会計は以下のとおりであり、今後とも“環境なくして経営なし”の観点から、効率的、効果的な環境投資を継続してゆきます。

集計範囲：茨城工場、三重工場、開発部

対象期間：2002年4月～2003年3月

環境保全コスト

(単位：千円)

分類	主な取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト			
公害防止 コスト	集塵機、屋外ファンの設置及び点検	13,329	2,688
	コンプレッサー等保守点検		1,112
	排水、浄化槽の処理点検等		2,802
	用水		4,024
地球環境 保全コスト	空調機保全	2,500	90
資源循環 コスト	産業廃棄物処理		42,549
小計		15,829	53,265
上・下流コスト			
	製造設備の改造	9,090	512
	グリーン購入(差額)		64
	製品の再商品化		3,109
小計		9,090	3,686
管理活動コスト			
	環境管理活動(ISO関連を含む)		774
	環境教育、環境測定		711
	事業所の緑化・美化・景観保持		4,489
小計		0	5,974
研究開発コスト			
	シックハウス対応接着剤の開発	31,289	1,852
	超耐候性シリク材・接着剤の開発	10,093	3,318
小計		41,382	5,170
社会活動コスト			
	地域への貢献		56
合計		66,301	68,150

環境保全効果

(単位：千円)

分類	主な内容	金額
省エネによる削減	節電	8,870
廃棄物関連	有価物の売却	96
環境対応品の市場展開	環境対応品の製品利益	329,862
合計		338,828

環境配慮製品の開発

研究開発の目標

セメダインは、環境に配慮した製品や革新技术を提供することを研究開発の目標としています。また、廃棄物対策、施工物の不良率低減や長寿命化による耐久性の向上も環境への貢献であると考え、製品開発に取り組んでいます。さらに、低臭、制振などの快適性や難燃性、有害物質不使用などの安全性にかける機能付与を行い、環境配慮製品の有用性を高める検討を行っています。

研究開発での環境配慮

製品開発は、研究開発部門と販売・マーケティングならびに生産部門の間の緊密な協力で進めております。使用される材料については、研究開発の各段階で行うDR(デザインレビュー)において社内標準の化学物質管理規定による管理を行い、環境や消費者の安全を配慮しています。2002年11月に環境配慮シート評価による管理を導入し、環境目標の達成の判断基準としました。

特に、建築内装用接着剤については、改定建築基準法のシックハウス対策に先行して2000年自主基準を制定(CCSマーク)しこれにもとづいた開発を行ってきました。

CCS(Cemedine Clean & Safe)マーク基準

セメダインでは、接着剤も環境のひとつとして考えています。そこに暮らす人、使う人、そして周りの環境への負荷を限りなくゼロにしたい・・・そんな願いを自主基準としてCCSマークを制定し、基準に合格したものに「住宅環境対策品のしるし」としてマーク



を表示しています。なお、具体的には、

- ・厚生労働省の室内空気濃度指針策定14物質を使用しないこと。
- ・アスベストを含有しないこと。

を表示の条件としています。

シックハウス対策を盛り込んだ改正建築基準法の施行(2003年7月)

セメダインでは、変成シリコン系接着剤、ウレタン系接着剤、水系接着剤、合成ゴム系接着剤などで、JISマーク認定や日本接着剤工業会自主規制の対応ラベル表示した建築内装用接着剤を開発し順次発売しました。

化学物質の室内濃度の指針値(厚生労働省)

化学物質	指針値(25℃)
ホルムアルデヒド	0.08ppm
アセトアルデヒド	0.03ppm
トルエン	0.07ppm
キシレン	0.20ppm
エチルベンゼン	0.88ppm
スチレン	0.05ppm
パラジクロロベンゼン	0.04ppm
テトラデカン	0.04ppm
クロルピリフォス	成人:0.07ppb 小児:0.007ppb
フェノカルブ	3.8ppb
ダイアジノン	0.02ppb
フタル酸ジ-n-ブチル	0.02ppm
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	7.6ppb
ノナナール	7.0ppm(暫定値)

環境配慮製品事例

(1)弾性接着剤

変成シリコン系弾性接着剤PMシリーズを1986年に業界に先駆け市場に投入しました。優れた接着性や耐久性の他、常温湿気で硬化するため硬化にエネルギーを要しない、無溶剤化により安全性が高いといった特長が評価されました。

世界初のテクノロジー

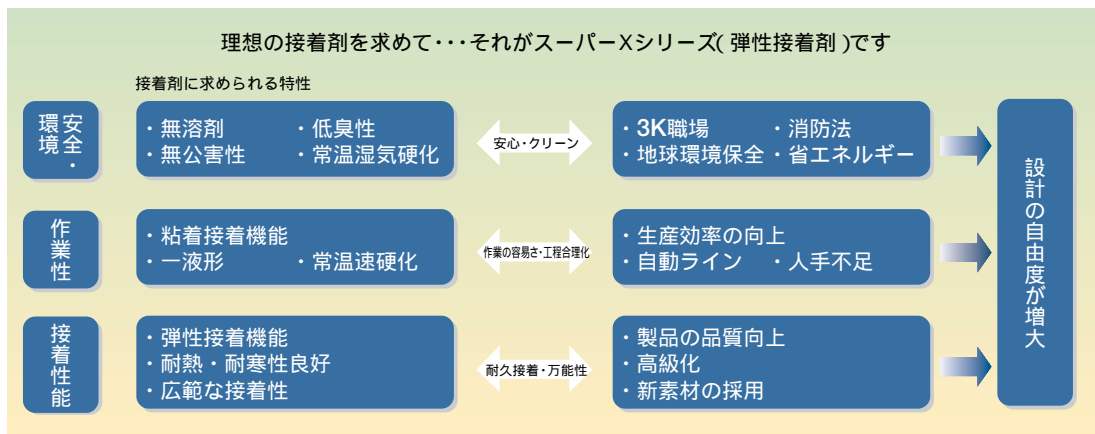
セメダイン・スーパーXは、接着剤の理想の概念といわれている「粘着接着」と「弾性接着」そして「無溶剤」という三大特長を備えた世界初の画期的な一液常温硬化形接着剤です。

さらに、最先端技術によって開発されたNEWテクノポリマーにより、現在の接着剤に対するさまざまな社会的ニーズを満足する機能を備えることができました。

6大特徴

粘着接着	一液	無溶剤	常温速硬化	弾性	広範な粘着性
仮止めがいらない	使いやすい	職場・地球にやさしい	初期立ち上がりが速い	優れた耐久性	シリコンゴムにもよく着く

接着剤に対する社会的ニーズ



弾性接着剤の歩み

- 1986年～：弾性接着剤汎用グレートの販売
1液形『PM100』『PM165』、2液形『PM200』『EP001』など
- 1992年：1液・速硬化・汎用接着性・粘着接着機能を持つ『スーパーXNo.8008』発売
- 1997年：外壁タイル張り用『タイルエース』発売
- 1998年：電機用難燃グレードUL94V-0認定品『SX720W』発売
- 2000年：建築内装用造作用『SG-1』、断熱ボード用『PM525』発売



(2)高耐候性シーリング材



従来タイプ
退色、クラックがある
(薄層部耐候試験後)



高耐候タイプ
退色、クラックが認められない
(薄層部耐候試験後)

変成シリコン系シーリング材『POSシール』は、耐候性、耐久性に優れ、表面への塗装性が良好であり、取り扱いが容易で、内外装で広範な用途に使用されています。

さらに住宅の品質確保の促進等に関する法律の施行や環境負荷への配慮、使用部材の耐久性向上(外装材、塗料など)から、シーリング材にも更に高い耐久性が求められています。セメダインではこのような住宅の長寿命化に応えるものとして、2001年に高耐候性シーリング材POSシールLMを開発し、業界に先駆け発売しました。

製品開発の歩み

1975年	シンナー遊び対策	一般用接着剤からトルエンを除去
1986年～	脱溶剤対応	弾性接着剤上市により脱溶剤化推進
1997年	脱アスベスト対応	含有製品のアスベスト全廃
1997年	硬化剤の脱鉛化	ポリサルファイドシーリング材『ポリシールN』発売
1997年	防音対策、脱塩ビ対応	水系制振塗料『HCO25』開発
1998年	塩素系溶剤対応	含有製品の塩素系溶剤全廃
2000年～	VOC等対応(1)	CCS対応建築内装用接着剤発売
2001年	VOC等対応(2)	酢ビエマルジョン系接着剤からフタル酸系可塑剤全廃
2003年	VOC等対応(3)	ゴム系接着剤、酢ビ溶液型接着剤の環境対応品発売 (ノンホルムアルデヒド・ノントルエン・ノンキシレン)

分析評価設備



ATD : GC/MS
(接着剤中から放散される揮発性有機化合物を検出する)



HPLC
(接着剤から放散される微量のアルデヒド類を検出する)



チャンバーシステム
(塗布された接着剤から放散される微量揮発性成分を捕集する)

廃棄物対策容器の開発

容器の軟包装材料化や減容化により、廃棄コストや廃棄作業の低減を提案しています。

具体例

金属チューブ

カートリッジ(紙+金属)

石油缶

ラミネートチューブ

軟包装パック『クリーンパック』『フィルムパック』『モノパック』

軟包装+ダンボール

今後の目標

分析評価設備を有効活用し、シックハウス対策接着剤の開発を推進します。

また、法規制を考慮した化学物質管理リストの2003年中の改訂と設計活動を実施します。

関連業界、公的機関との研究協力に取り組み、革新が要求される環境に優しい製品開発を推進します。

環境配慮製品ラインアップ


新築・改築直後の住宅やビルにおいて、化学物質を放散する建材・内装材の使用等による室内空気汚染が原因で、居住者に様々な体調不良が生じるシックハウス症候群が問題視され、2003年7月から改正建築基準法の施行によりホルムアルデヒドの放散規制が始まり、今後VOCがより厳しく規制されます。

それに先駆けてセメダインでは「住む人にやさしい」「使う人にやさしい」「環境にやさしい」を方針とし、厳しい自主基準のもとで環境に配慮した製品づくりを推進してきました。

その結果、住宅環境対策品に「CCSマーク」を設定して、居住者と施工者が安心できる環境対策製品シリーズをラインアップしました。

「CCSマーク」表示製品は、厚生労働省指針値策定14物質を使用しない、ノンホルムアルデヒド・ノントルエンタイプのVOC対策製品です。

なお、これらCCSマーク品は、改正建築基準法の基準にも適合しており、JISまたは日本接着剤工業会の自主基準にもとづくFマークを表示しています。

	『CCSマーク』 Cemedine Clean & Safe (セメダイン自主基準)
F	建築用・木工用JISの改正に基づくホルムアルデヒド放散量等表示 (ホルムアルデヒド放散が極めて少ないと認められた最上級等級)
JAIA F	日本接着剤工業会の自主基準に基づくホルムアルデヒド放散量等表示 (ホルムアルデヒド放散が極めて少ないと認められた最上級等級)

TVOC(総揮発性有機化合物)を極めて少なくした環境にやさしいVOC対策品

(VOCの発生量を極めて少なくしていますので、今後のVOC規制に向けて安心してご使用頂けます。)

製品名	種類・成分等	用途	表示区分 F	JIS 規格番号	特徴・容器
① PM26F	一液変成シリコーン樹脂系	床仕上げ材用	 	A5550 (申請中)	カートリッジ品
② UM600V	一液ウレタン樹脂系	床仕上げ材用	 	A5550 (申請中)	フィルムパック使用により廃棄物の削減に対応
③ UM620		床仕上げ材用	 	A5536	
④ PM575	一液変成シリコーン樹脂系	床仕上げ材用	 	A5536	カートリッジ品とチューブ品を用意
⑤ ボードエース21		発砲ポリスチレンボード用	 	A5547	
⑥ タイルエース		各種タイル用	 		
⑦ コンクリメントV		木れんが・下地用	 	A5537	
⑧ PM165R		多用途内装用	 	A5549	
⑨ SG-1	多用途内装用	 	A5538		
⑩ ボードロック310 (ボードテープ310併用)	多用途内装用 (各種建築ボード張り)	 	A5538	カートリッジ品 (テープ併用)	



① 「PM26F」 ② UM600V



③ UM620



④ 「PM575」



⑤ 「ボードエース21」



⑥ 「タイルエース」



⑦ 「コンクリメントV」



⑧ 「PM165R」



⑨ 「SG-1」



⑩ 「ボードロック310」

ノンホルムアルデヒド・ノンフタル酸系可塑剤タイプの水性系VOC対策品

製品名	種類・成分等	用途	表示区分 F	JIS 規格番号	特徴・容器
① 根太組付用	アクリル樹脂系 エマルジョン形	床根太用	CCS JAIA		ポリチューブによる塗布性向上
② EM346			CCS JAIA		カートリッジ品
③ 木工用605	酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン形	内装・建具等の木工用	CCS JIS	K6804	ポリ容器、 詰替用あり
④ 木工用速乾			CCS JAIA		ポリ容器、
⑤ 水性コンクリメント	アクリル樹脂系 エマルジョン形	壁・天井ボード用	CCS JAIA		コンクリートと 木れんがの接着 に最適
⑥ 615	酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン形		CCS JIS		A5538



① 「根太組付用」



② 「EM346」



③ 「木工用605」



④ 「木工用速乾」



⑤ 「水性コンクリメント」



⑥ 「615」

環境コミュニケーション

セメダインは、主に下記手段を通してお客様への環境情報の開示・環境コミュニケーションを図っております。

環境報告書

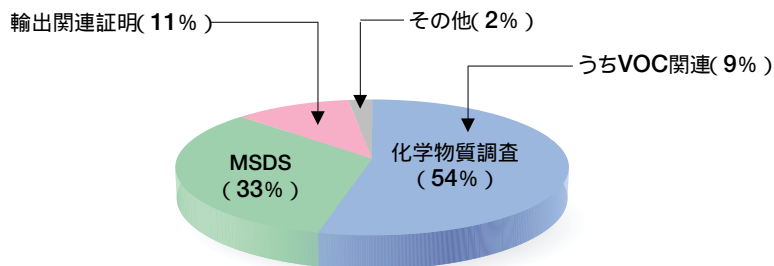
この初版に続き、今後も定期的に発行していきます。

住宅室内環境への対応

建築内装用接着剤を中心とした住宅環境配慮製品
 CCS(セメダインクリーン&セーフ)マーク製品
 シックハウス対策製品(F マーク品)
 建築内装用接着剤施工業者への説明会

製品安全情報の提供

2002年度実績1280件 内訳は次のとおり



ホームページによる情報提供

『困った時のQ&A』 『セメダイン製品のMSDS』 <http://www.cemedine.co.jp/>

「地球環境にやさしい会社」39位にランク (2002年版企業イメージ調査)

日本経済新聞社等による2001年8～9月の第14回企業イメージ調査「地球環境に気を配っている企業」で一般個人部門の第39位にランクされました。この調査は首都圏の18歳から69歳までの男女個人の9323名の回収結果によるもので、ちなみに上位企業にはトヨタ自動車(株)、東京電力(株)、東京ガス(株)など著名な会社が選ばれています。「セメダイン」が地球環境に優しい企業に選ばれたのは、スーパーXに代表される脱溶剤製品の相次ぐ上市、また環境自主基準を設定し、この適合を示すCCS(Cemedine Clean & Safe)マークを表示した建築内装用接着剤を上市するなど環境保全への積極姿勢に加え、接着剤そのものが補修・再生等でリユース、リサイクルへの貢献機能を有しておりこれが接着剤メーカーの代表としてイメージされたものと考えられます。

関係会社への取り組み

茨城工場における関係生産会社は、小物充填会社及び少量生産会社の2社があります。いずれも、当社ISO14001認証取得時から環境側面の洗い出しを含め、協同して環境マネジメントシステムの構築に当たっており、2003年1月には、内部環境監査導入のため監査員養成を行いました。
 また、2003年1月からは廃棄物の低減化のため各関係会社を含め他事業所でも廃棄物の処理について自主管理及び独立採算に移行しました。

環境データ

法規制項目の測定結果は以下のとおりです。

2002年度の茨城工場、三重工場の法規制の遵守状況を公開します。

水質関係

項目	工場名	規制値	実績値	採取日
pH	茨城	5.8～8.6	7.3	2002/12/12
	三重	5.8～8.6	6.8	2000/ 1/20
BOD(mg/L)	茨城	25以下	1.2	2002/12/12
	三重	—	2	2000/ 1/20
トリクロロエチレン(mg/L)	茨城	0.3以下	0.001以下	2002/12/12

騒音・振動

項目	工場名	時刻	規制値	実績値 (最大値)	採取日
騒音 (デシベル)	茨城	昼間	65	60(*1)	2001/7/ 5
		朝夕	60	50	2001/7/ 5
		夜間	50	46	2001/7/ 5
	三重	昼間	60	56	2000/5/12
		朝夕	55	—	—
振動 (デシベル)	茨城	昼間	70	60	2001/7/ 5
		夜間	60	30	2001/7/ 5
	三重	昼間	65	31	2000/1/20
		夜間	60	(操業なし)	

*1:敷地境界内での測定結果。防音壁設置後の敷地境界外測定結果は58デシベル。(2001/10/4)

環境データ

悪臭

採取日：2001/7/25

項目	工場名	規制値	実績値
酢酸エチル	茨城	3 ppm	0.15
メチルイソブチルケトン	"	1 ppm	0.18
トルエン	"	10 ppm	0.3
キシレン	"	1 ppm	0.7

大気

採取日：2002/10/8

項目	工場名	規制値	実績値
SOx	茨城	0.631 Nm ³ /h	0.253
NOx	"	180 ppm	83
ばいじん	"	0.3 g/Nm ³	0.02

土壌

採取日：2001/7/5

項目	工場名	規制値	実績値
カドミウム	茨城	0.01mg/1以下	未検出
シアン	"	検出されないこと	未検出
有機りん	"	検出されないこと	未検出
鉛	"	0.01mg/1以下	未検出
六価クロム	"	0.05mg/1以下	未検出
ひ素	"	0.01mg/1以下	未検出
総水銀	"	0.0005mg/1以下	未検出
アルキル水銀	"	検出されないこと	未検出
PCB	"	検出されないこと	未検出
トリクロロエチレン	"	0.03mg/1以下	未検出
テトラクロロエチレン	"	0.01mg/1以下	未検出
ジクロロメタン	"	0.02mg/1以下	未検出
四塩化炭素	"	0.002mg/1以下	未検出
1,2 - ジクロロエタン	"	0.004mg/1以下	未検出
1,1 - ジクロロエチレン	"	0.02mg/1以下	未検出
シス - 1,2 - ジクロロエチレン	"	0.04mg/1以下	未検出
1,1,1 - トリクロロエタン	"	1mg/1以下	未検出
1,1,2 - トリクロロエタン	"	0.006mg/1以下	未検出
1,3 - ジクロロプロペン	"	0.002mg/1以下	未検出
チウラム	"	0.006mg/1以下	未検出
シマジン	"	0.003mg/1以下	未検出
チオベンカルブ	"	0.02mg/1以下	未検出
ベンゼン	"	0.01mg/1以下	未検出
セレン	"	0.01mg/1以下	未検出

グリーン購入

セメダインでは、環境に配慮した、環境に優しい製品を優先的に購入する「グリーン購入」に積極的に取り組んでいます。再生紙、事務用品、OA部品などへの購入を手始めに、工場においては、環境調達手順での標準化により実施しており、今後は全社的な展開を図るため2003年度中にグリーン購入手順を制定・実施する予定です。

環境負荷の低減

化学物質の取扱い及びエネルギー使用において、環境負荷の低減の実現を進めています。

化学物質の適正管理

1) PRTR対象物質実績(2002年度)

(単位:t)

(No.)	化学物質	全社			茨城工場			三重工場		
		排出量	移動量	計	排出量	移動量	計	排出量	移動量	計
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0.0	9.8	9.8	0.0	8.9	8.9	0.0	0.9	0.9
63	キシレン	0.0	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0	—	—	—
102	酢酸ビニル	0.0	41.3	41.3	0.0	41.3	41.3	—	—	—
176	有機スズ化合物	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	—	—	—
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	—	—	—
227	トルエン	20.6	34.2	54.8	16.7	7.2	23.9	3.9	27.0	23.0
266	フェノール	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	—	—	—
272	フタル酸(2-エチルヘキシル)	0.0	9.6	9.6	0.0	9.6	9.6	—	—	—
	合計	20.6	98.2	118.8	16.7	70.3	87.0	3.9	27.9	23.9

PRTRとは

環境汚染の防止を目的に、各事業者が化学物質の管理を自主的に取り組むべき法律としてPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律:平成11年7月公布)が制定されました。

この法律の規制のひとつとして、指定された取扱い化学物質の環境への排出(大気や土壌への排出)や移動量(廃棄された物)を国へ届け出ることがあり、これにより事業者は自主的に削減に取り組むことが要請されています。

2) 化学物質管理の強化

PRTR対象物質以外にも禁止物質を含め、自主規制物質を指定し環境および人(※)にやさしいを目指して有害な物質を使用しない管理体制を構築し、つぎのとおり運営しています。

※ 接着剤を使用する人、接着剤に接触する可能性のある人、居住者、廃棄に携わる人など。



なお、石綿、塩素系溶剤はすでに使用禁止物質としています。

エネルギー使用量

1) エネルギー総使用量実績

エネルギー種類	全社		茨城工場		三重工場	
	2001年度	2002年度	2001年度	2002年度	2001年度	2002年度
電力 (千kwh)	6,630	7,176	5,473	5,840	1,157	1,336
A重油 (KL)	409	449	388	421	21	28
水 (m ³)	84,262	82,078	81,507	79,199	2,755	2,879
LPG (m ³)	3,421	3,751	3,325	3,644	96	107

2) 低減対策状況

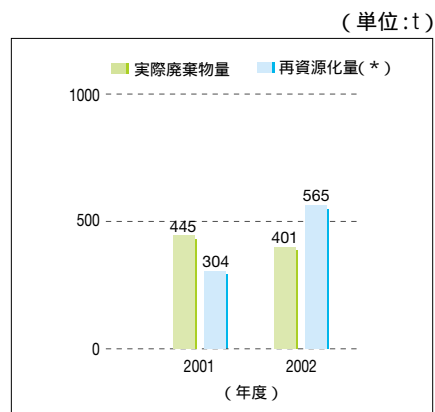
水： a) 霞ヶ浦の再生のため、地域活動に参加し、用水を使用。
 b) クーリングタワー、地下水槽は循環式を採用。
 c) 配管の錆び、腐食対策として磁気式水処理装置を設置。

電気： a) 休日時の不要電源OFFの徹底
 b) 蛍光灯の削減
 c) 東京電力への協力(夏季の電力対策)

再資源化量の状況

(単位:t)

	2001年度	2002年度
実際廃棄物量	445	401
再資源化量(＊)	304	565
全体廃棄物量	749	966



*再資源化量とは、リサイクルに回すことのできる廃棄物のこと、例えば、鉄くず、燃え殻、新聞紙等がある。

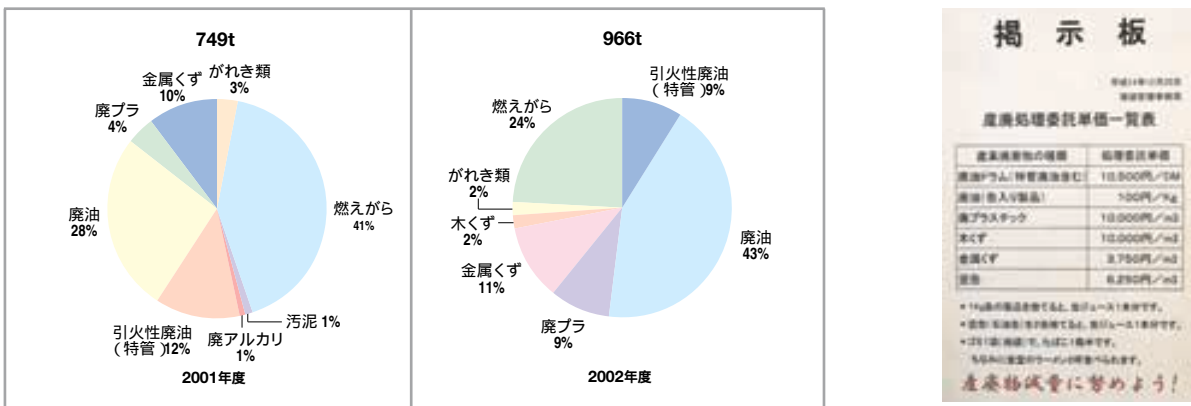
全体廃棄物量は増加したが、再資源化量は2001年度41%から、2002年度59%へ向上した。

廃棄物の管理

接着剤の生産は、多種の化学物質を材料として使用し、その混合・反応そして充填によって行われている。品質及び環境の両面からの多岐にわたる厳しい顧客要求への対応から、品目数の増加、小ロット・少量生産化及びこれによる洗浄回数の増加、建築用シーリング材の外観色の増加、接着剤自体の構成成分の高固形分化へのシフト等は、いずれも廃棄物の増加要因となっています。

また、最近の環境基準の強化にともないダイオキシン類対策特別措置法により当社は直轄の廃棄物焼却場を2002年11月に廃止しました。そのため廃棄物の発生の抑制と再資源化率の向上について、年度計画に盛り込み推進しています。

2001年度、2002年度の廃棄物の量と内容(茨城、三重の両工場集計)



(単位:t)

	全 社		茨城工場		三重工場	
	2001年度	2002年度	2001年度	2002年度	2001年度	2002年度
引火性廃油(特管)	86.6	84.8	75.1	58.1	11.5	26.7
廃油	209.7	429.3	163.5	362.7	46.2	66.6
廃プラ	28.1	83.0	6.4	58.8	21.7	24.2
金属くず	71.8	104.8	58.0	79.6	13.8	25.2
木くず	3.0	20.8	0	19.2	3.0	1.6
がれき類	20.0	16.0	20.0	16.0	—	—
ガラスくず	1.7	0	1.7	0	—	—
燃えがら	308.9	227.2	308.9	227.2	—	—
汚泥	9.2	0	9.2	0	—	—
廃アルカリ	10.2	0	10.2	0	—	—
合 計	749.3	965.8	652.9	821.6	96.3	144.2
再資源化量	304.0	565.2	304.0	565.2	0	0

環境保全活動のあゆみ



会社概要

社 名: セメダイン株式会社

本 社: 〒141-8620

東京都品川区東五反田4 - 5 - 9

TEL : 03 - 3442 - 1331

FAX : 03 - 3445 - 1312

URL: <http://www.cemedine.co.jp/>

設 立: 昭和23年4月22日 (創業大正12年11月)

代 表 者: 代表取締役社長 黒川靖生

資 本 金: 30億5,037万5千円

事業内容: 1. 接着剤、シーリング材、粘着テープ、塗料、コーティング剤、その他

(潤滑油、剥離剤)及びその加工品の製造販売

2. 家庭用品、事務用品類の製造販売

3. 接着剤及びシーリング材等の適用機材・器具の製造販売

4. 接着及び防水等に関する施工及び請負

5. 上記に関係ある商品の輸出及び輸入

6. 上記に附帯する一切の業務

売 上 高: 個別: 195億円 連結: 240億円(2002年度)

事 業 所: 工場2カ所、支社3カ所、営業所6カ所、

商品センタ - 2カ所

従業員数: 386名

国 内 の: セメダインヘンケル株式会社

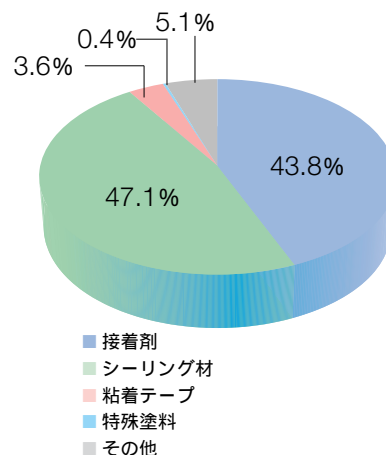
関係会社 セメダイン通商株式会社

セメダイン神奈川販売株式会社

利根川化工株式会社

シ - アイケミカル株式会社

売上高構成比



セメダイン(株)の生産、販売拠点





この環境報告書は、古紙配合率
100%再生紙を使用しています。
.....「セーブメーション」



この資料は環境にやさしい
大豆インキで印刷しています。

 **セメダイン株式会社**
〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9
<http://www.cemadine.co.jp/>